

平成28年度 総務常任委員会行政視察報告書

1 日 時 平成28年8月23日(火)～24日(水)

2 視 察 先

◇婚活問題について

・富山県南砺市

◇公共交通について

・富山県魚津市

◇防災対策について

・石川県小松市

3 参 加 者 (7名)

委 員 長 森 喜人

副委員長 田代 はつ江

委 員 美谷添 生 渡辺 友三 古川 文雄 三島 一貴

事 務 局 議会総務課長 古川 義幸

4 研修結果 以下のとおりである。

富山県南砺市 8月3日(10:05～12:00)

歓迎あいさつ

赤池 南砺市議会産業建設常任委員長

来訪あいさつ

森郡上市議会総務常任委員長

渡辺郡上市議会議長

南砺市企画調整課の説明

説明者：市川 市民協働部南砺で暮らしません課長

鵜野 市民協働部南砺で暮らしません課主幹兼婚活支援係長

◇ 南砺市の概要

○人 口 52,760人

○面 積 669km²

○議 員 数 20人

○予算規模 332億2,000万円

◇ 南砺市の婚活支援事業

・平成26年度に「南砺で暮らしません課」を設置し、今年度には「市民協働課」を統合し、結

婚活支援、移住定住支援、空き家対策、山間過疎の地域振興に特化した課とした。事務所を商業施設内に設置した関係もあって、開庁時間を 10 時から 21 時までとし、職員は勤務時間をずらして調整している。土日も開庁し、火曜日が閉庁となっている。

- 婚活支援が活発に行われており、これまでの成婚は 71 組ある。年度ごとの内訳は、平成 23 年度 1 組、平成 24 年度 9 組、平成 25 年度 20 組、平成 26 年度 15 組、平成 27 年度 15 組、平成 28 年 8 月までに 11 組となっている。
- あなたと私を結ぶ赤い糸プロジェクトー A I P48 というキャッチフレーズで、婚活支援係が職員 2 名体制で専門に婚活支援や相談に応じている。婚活応援団「なんとおせっ会」、婚活を希望する方が会員となる「婚活倶楽部なんと」を結成し、会員の婚活支援を総合的に行っている。
- 婚活応援団「なんとおせっ会」は、会員数 120 名（女性 87 名、男性 33 名）である。当初は自治会や婦人会の代表者も加入され、現在も議員が 6 ～ 7 名加入されているが、イベントなどに参加されるのは 30 名ほどである。お見合い会、事前相談会、情報交換会を開催し、「婚活倶楽部なんと」の背中を押す役割を担っている。婚活の仲人報奨金として 1 組につき 2 万円が出されている。年間報酬はなく、費用弁償として 1 回につき 2,000 円が支給されている。
- 婚活倶楽部の会員が結婚され、南砺市に居住される場合は、祝い金として 1 人 2 万円の商品券が出されている。
- 「婚活倶楽部なんと」の会員が成婚されると、今度は「なんとおせっ会」に入会して婚活支援の活動される方もいる。
- 「婚活倶楽部なんと」の現在の会員は 423 名（女性 196 名、男性 227 名）となっており、婚活セミナーや出会いの場を提供している。皆、恋愛したいという願望は持っている。
- J A や地域団体開催の出会いイベントに補助金の交付（人数により 10 万円から 30 万円を交付）。
- 世界遺産の地の利を活用。平成 24 年にはテレビ番組の「お見合い大作戦」を活用している。
- パンフレットや入会申込書は思考が凝らしてあり魅力的である。



会議の様子（南砺市）

質問（Q）と回答（A）

Q 郡上市の職員は独身者が多いが、御市はどのように対応されているか。

- A 当市も独身の職員は多い。倶楽部を立ち上げた時には会員になってもらったが、その後は活動がほとんどない。おせっ会さんからは市の職員もどんどん会員になってもらうように言われている。会員でなくてもイベントへの呼び掛けはしている。
- Q 子どもに老後を親で見てもらいたいからなどの理由で結婚してほしくない親はいないか。
- A 子どもが連れて来た相手なら、日本人でなくても信頼するようにと、おせっ会さんから親の指導をしていただいているが、親とおせっ会さんとの関係が悪くなるケースもある。
- Q 親が仲が悪いとそれがトラウマになって、結婚したくないと思っているのでないか。
- A 親が離婚したことがトラウマになっているケースがあった。話を聞いて、話をしてあげることしかないのではないか。
- Q 結婚した後の対応はどうしているか。
- A 一部の会員ではあるが、出産の不安を取り除くためにおせっ会さんが連絡を取っているケースはある。会員で結婚したのちおせっ会さんになられることもある。新米のおせっ会さんと新婚のおせっ会さんと情報交換をやっている。子育て支援として保育園に上がる前の体験の情報を行政から得て、会員OBに案内したらという話がでている。
- Q お見合い大作戦をやったあとの影響はどうか。
- A 男性の参加が減ってきているのが悩みである。テレビ番組のような個人をクローズアップして誰かということが分かるようなやり方はなくしてきている。男性には断られたら落ち込まないで次に進むようにおせっ会さんが励ましている。女性も遠くから来てもらって、何もなく帰っていくのは残念な気持ちになっているので、励ましと南砺市を好きになってもらえるように声掛けをしている。
- Q 会員の離婚はどうか。
- A 会員の離婚はほとんどないと思うが、結婚することを本人から聞いて知るぐらいで、積極的に情報を集めていない。
- Q 婚活に係る総予算とイベントの予算について。
- A 平成28年度の予算は990万円ほどである。この内、内閣府の地域少子化対策の交付金360万円を予定している。過疎債も適応している。7割ほどが交付税対応である。おせっ会さんは費用弁償を1回あたり2,000円出しているが、年間の手当は出していない。地元の祭りに独身者を集めてお見合いパーティーを計画されている。会員のためのイベントでなくても、おせっ会さんがアドバイスをしている。団体が行った昨年のイベントは6件で65万9,000円助成している。
- Q セミナーへの呼びかけ方法と参加者の状況は。
- A 親対象はチラシなどで、独身者対象の場合は、メルマガジンで案内しているので参加率は1割にも満たない。セミナーが婚活に役立つのか理解されていない。
- Q 窓口を21時までと土日にも行っていることについて。

- A 事務所がショッピングセンター内にあることが大きな理由であるが、結婚相談は仕事が終わってからとか、土日の仕事が休みの時に来られる。
- Q 会員の年齢制限について。
- A 婚活倶楽部なんとへの入会年齢は25歳から50歳までとしているが、実際は22歳から55歳の会員がいる。60歳・70歳の方が会員になりたいという話があったが、相手がいないので概ねの年齢制限を設けている。40歳以上を対象にイベントを行ったら参加者がほとんどなかった。35歳まで下げたら人数の確保ができた。女性の参加が少ないので、おせっ会さんから会員以外に声を掛けてもらって集めている。
- Q 外国籍の方の登録はどうか。
- A 外国籍の会員は女性が2名いる。外国籍でも地元で一生懸命働いておられれば受け入れる。
- Q おせっ会さんと婚活倶楽部がセットになっており、成果が出ていると理解する。どのように会員を集めているのか。倶楽部がイベントを企画することはあるのか。
- A 平成23年度の発足当時は、おせっ会さんからの働きがあって210名の入会があった。その後はホームページが中心となっている。近年は80～90名の入会があるが、イベントを通してとか親からおせっ会さんを通しての入会がある。倶楽部員独自の活動が過去にはあったが最近はない。青年団のように活動ができればと思っている。
- Q 外に向けて婿に来られる方を対象に募集はしていないか。
- A 婿に行ける方は早めに結婚しているのではないか。南砺市に来たいという男性は会員になってもらっている。

お礼あいさつ

田代郡上市議会総務常任委員会副委員長

富山県魚津市 8月23日（14：30～16：35）

歓迎あいさつ

吉川 魚津市議会事務局長

来訪あいさつ

森郡上市議会総務常任委員長

渡辺郡上市議会議長

魚津市民バスについて

説明者：亀田 商観光工課交通政策係長

◇ 魚津市の概要

- 人 口 42,977人
- 面 積 201km²
- 議 員 数 17人
- 予算規模 185億円

◇ 魚津市民バスについて

- ・郡上市と人口は同じくらいであるが、面積は201km²と郡上市のほぼ5分の1程度である。日本海に面し、背後には霊峰立山がそびえている。
- ・バスの運行については、平成18年度から6路線にそれぞれの地域が構成メンバーとなったNPO法人を設立し、地域主体で進めた。平成19年度の本格運行を目指し、スケジュールの作成及び提出。事業費の3分の2を市から支援し、残り3分の1は利用料金を含めてNPO法人が負担をすることとした。
- ・平成25年9月18日に国土交通大臣表彰を受賞している。
- ・地元の北陸職業能力開発大学校と共同研究を行い、平成23年度からバスロケーションシステムを導入している。平成28年度から運行を開始した。
- ・平成27年度からは、路線間格差や運転手等の確保が困難などの人材難から、NPO法人の運営を廃止、市から交通事業者へ委託することになった。運転手は社会保険に加えるなど雇用条件は良くなったが、市の負担が550万円から750万円に増えることとなった。



会議の様子（魚津市）

質問（Q）と回答（A）

Q NPO法人を設立して、バス運行を地域で行うこととなった経緯について。

A 民間バス路線が休廃止される中で、地域の中で法人格を持った組織が主体となってバスを運行するために、NPO法人を立ちあげていただいた。バス運行に当たっては、地元の老人クラブなどにも説明して、地域にバス運行が必要なら事業費の3分の1を地域が負担することに理解されたところから本格運行に移すことにした。全商業施設や事業所のある路線とない路線では、収入に格差が生じてくるため、全路線市が運行することに切替えた。

Q 交通対策に掛ける予算の総額はいくらか。

A 総額は7,000万円であるが、国や県からの補助金や運賃収入を差し引くと3,000万円から3,500万円が市の持ち出しである。

Q 市が運行することになって、契約はどうか。運転手の確保はどうか。

A 契約は随契で行っている。NPO法人の運転手から契約している事業所の契約社員になってもらった。時給1,000円から950円となり、多少下がったが、社会保険に加入してもらっている。業務はコミュニティーバス専用となっている。白ナンバーでの運行であるが、平均年齢は65歳ほどであり、運転手を探すのが難しくなっている。各ルート2～3人の運転手を確保しているが、他のルートも対応できるようにしている。

Q 利用者の状況について。

A 7割以上が65歳以上であり、買い物と通院が主な利用目的となっている。

Q バスを乗り換えるごとに200円が必要なのか。

A 現在は乗り継ぎをするごとに200円が必要となっているので、2回以上乗り継ぐ場合は500円の1日乗車券の利用を紹介している。ターミナルでの乗り継ぎを課題としている。

Q 高校生の利用はどうか。

A 高校生の通学にも利用しているが定期券がないので、回数券の利用となっている。主に雨の時の利用となっている。

Q 路線の走行距離について。

A 長い路線で20kmぐらい、短い路線は12kmぐらいである。

Q 夜のバス運行については考えていないか。

A バスが担う時間帯として、夕方の遅い時間も要望はあるが、利用者の数は減って行くので、コストを掛ける割に収益が少ない。夜の時間帯はタクシーの利用をお願いしたい。

Q コミュニティーバスと健康を結びつけた運行は考えていないか。

A 利用者が減って行く現状では何かの方策を考えていく必要がある。市民は歩くことが体にいいことに気が付いてきているので、市内の体育施設を利用するとポイントがたまって、協賛事業者からの賞品が貰える場合があるというものをやっているの、バスを利用してもポイントがたまるというものを健康センターと話し合っている。ポケモンGOをやる場合も、バスだとゆっくり走るのでもちょうどいいので、売り出していこうと考えている。

Q バスは車いす対応をしているか。

A 市街地を走る東回りと西回りは平坦なところを走るため、小型低床バスとなっており、車いすを固定できるようになっているが、その他の路線は、急傾斜があったりして低床バスを導入できないので、車いす対応はしていない。

Q 減免について。

A 減免や割引の要望はあるが、ひとつやれば他の要望も聞かなければならなくなる。収支もみながらやる必要がある。

A 距離に関わらず一律200円の料金体制について。

Q 好きで長いこと乗っている訳ではないので、乗車距離に関係なく同一料金としているが、これに対する意見は出ていない。

A ルートの延伸等の要望について。

Q 延伸の要望はあるが、市街地巡回ルートは1時間で巡回出来るようにしているため、延伸はしていない。毎回同じ時間に同じ停留所を回ることが出来なくなってしまう。停留所の増設の要望もあるが、バスの乗り入れが危険であるところもあるので、検討しながら対応している。商業施設へ行くルートの要望は出来るだけ対応している。ショッピングセンターもバスが乗り入れしやすいように工事したりして協力を得ている。

お礼あいさつ

田代郡上市議会総務常任委員会副委員長

石川県小松市 8月24日（10：00～11：45）

来訪あいさつ

森郡上市議会総務常任委員長

渡辺郡上市議会議長

○小松市の防災対策について

●説明者：湯野 行政管理部防災安全センター長

◇ 小松市の概要

○人 口 108,595人

○面 積 371km²

○議 員 数 22人

○予算規模 423億6,000万円

◇ 小松市の防災対策について

- ・行政管理部防災安全センターを設置し、全ての防災関連事業を推進している。
- ・業務としては、
 - ① 地域防災計画及び国民保護計画に関すること
 - ② 災害時における警戒本部、災害対策本部の設置及び運営に関すること
 - ③ 市の危機管理に関すること

④ 自主防災組織に関すること

平成23年度から自主防災評価基準を設置、防災士確保目標500人（現在265人）、市民救護員確保目標500人（現在318人）

⑤ 避難所及び防災備蓄品に関すること

⑥ 各種災害マニュアルの整備に関すること

⑦ 各種災害協定に関すること

⑧ 防災デジタル行政無線の整備・管理に関すること

⑨ 罹災証明書の発行手続きに関すること

⑩ 先進技術ドローンの導入



会議の様子（小松市）

質問（Q）と回答（A）

A 長寿集落サポートマップとはどのようなものか。

高齢化率はどれくらいか。

Q 高齢化率は27.34%であるが、マップの対象者は75歳以上としており、山間部のみだがハザードマップに高齢者宅を落とし込んでいく。75歳以上でも元気な人は色分けして分かるようにしている。

A 防災対策にこれほど力を入れている理由は何か。

Q 市長が防災対策について熱い思い入れがある。現在の市長になって防災対策が強化されてきた。

A 福祉避難所の利用について

Q まず一般の避難所に来てもらって、そこで対応が困難な場合は福祉避難所に移ってもらうことにしている。

A 自主防災評価基準で一番多いのはBランクであるが、減点されるのはどの点か。

Q 参加率が左右している

A 地域で行う訓練への住民の参加状況はどうか。

Q 防災訓練を行っていない地域もあり、地域によりばらつきがある。町内単位での訓練は難しいかもしれないので、校下単位で行うように提案している。そこで慣れてきたら町内単位でもやってもらいたい。

A 自主防災大会について

Q 各町内には何人来てくださいという案内を出している。関係機関も参加してもらう中で、表彰と町内の防災への取り組みの事例発表と記念講演を行っている。

A 観光客への防災対応はどうか。

Q 避難所には多言語で対応できるようにしている。消防では避難所まで誘導してくれるア

プリを開発した。外国人に対しても防災の対応ができるようにしていきたい。9月に行っている防災訓練には外国人にも参加してもらっている。

A 機能強化避難所について。

Q 災害資機材や食料品などの備蓄品が置いてある施設を言い、主に学校施設であり、15カ所を指定している。学校は備蓄品を置くスペースが少なく課題である。

所感

富山県南砺市

「南砺で暮らしません課」という課の中に婚活を専門とする係を作って相談業務等を行い、婚活応援団体である「なんとおせっ会」を立ち上げ、市長自ら会員となっており、会員の多さに驚いた。結婚を希望する男女で組織する「婚活倶楽部なんと」も大変多くの方が入会しており、少子化は結婚の減少が原因であるとの共通認識のもと一丸となって進めていると感じた。行政・婚活応援団・結婚希望者の関係を総合的な体制で取組んでいることは、郡上市としても学ぶべき点が極めて多いと思う。市全体の希望と意気込みを感じた。

富山県魚津市

平成12年度交通活性化計画以来、職員の異動を少なくし、長期的な視点で取り組んでいた。201km²と郡上市の2割弱の面積しかないため、バス路線は長くても20kmぐらいということであり、効率がよいと感じた。料金は運行距離に関係なく200円に統一されている。利用していただくことを優先すれば郡上市の料金も検討する必要を感じた。

八幡町内のまめバスにもバスロケーションシステムがあると便利だと思われる。

魚津のバス運行は、当初と運営主体が変わっており、変化していく状況を見据えたうえで、より使いやすく運営しやすいシステムを追及していくためには、担当者が長い目で見ていくことも重要であると考えた。

石川県小松市

特に大きな災害を経験した訳でもないが、市長のリーダーシップの下、防災に関する市民への意識付けが徹底されている。246町内の自主防災組織の結成率は100%であり、自主防災組織評価制度を設け、各自主防災組織は5段階評価をされている。低いランクに評価された自主防災組織は、ランクUPプランが用意されており、ワンランク上を目指して取り組むことになっている。形だけの組織を作るのではなく、常に防災を意識した地域活動が展開されているのではないかと感じた。自然の猛威に対して100%の対応は不可能であるが、小松市のあらゆる事態を考えた取り組みは、学ぶことが多かった。

◎委員会視察経費

視察費 2 6 7, 7 4 4 円（議会事務局職員旅費を含む）

1 人平均 4 4, 6 7 2 円（委員 6 名）

以上、行政視察の結果について報告します。

平成 2 8 年 9 月 3 0 日

郡上市議会議長 渡 辺 友 三 様

郡上市議会総務常任委員会

委員長 森 喜 人